

## オムロン PLC 通信ライブラリ (OmronCom.dll)

### 1. 概要

オムロン社製 PLC の C モード通信と FINS プロトコルに対応したライブラリです。

### 2. シリアル通信用オプションパラメータ

パラメータ	設定値	デフォルト値	説明
UnitNo	00-31	00	上位リンク用ユニット No.
Cmode	0=FINS 1=C モード	0	通信モード選択

### 3. FINS オプションパラメータ

パラメータ	設定値	デフォルト値	説明
AutoNodeNumber	0=OFF 1=ON	1	FINS ノードアドレス自動取得 (TCP のみ) 1 を設定した場合、発信元ノードアドレス(SA1)は自動取得されます。SA1 の設定は無効となります。
DNA	0-7F	0	相手先ネットワークアドレス 0=自ネットワーク (16 進数で設定)
SNA	0-7F	0	発信元ネットワークアドレス 0=自ネットワーク (16 進数で設定)
DA1	0-FE	1	相手先ノードアドレス (16 進数で設定)
DA2	0-FE	0	相手先号機アドレス (16 進数で設定)
SA1	0-FE	1	発信元ノードアドレス (16 進数で設定)
SA2	0-FE	0	発信元号機アドレス (16 進数で設定)

## 4. オプションパラメータ設定例

パラメータは“パラメータ=設定値”の書式で複数設定するときはセミコロン(;)で区切って設定します。

### C モード

UnitNo=0;Cmode=1

### FINS/Serial

UnitNo=0;Cmode=0;DNA=0;SNA=0;DA1=0;DA2=0;SA1=0;SA2=0;

### FINS/TCP

AutoNodeNumber=1;DNA=0;SNA=0;DA1=1;DA2=0;SA1=1;SA2=0;

### FINS/UDP

DNA=0;SNA=0;DA1=1;DA2=0;SA1=1;SA2=0;

※ 省略したパラメータはデフォルト値が設定されます。

## 5. 対応デバイス

本ライブラリで指定できるデバイス名とアドレスは下記の表を参照してください。

デバイス名	種別	アドレス番号
CIO	Bit	*1
WR	Bit	*1
HR	Bit	*1
AR	Bit	*1
DM	Word	10 進数値
EM0	Word	16 進数値
EM1	Word	10 進数値
EM2	Word	10 進数値
EM3	Word	10 進数値
EM4	Word	10 進数値
EM5	Word	10 進数値
EM6	Word	10 進数値
EM7	Word	10 進数値
EM8	Word	10 進数値
EM9	Word	10 進数値
EMA	Word	10 進数値
EMB	Word	10 進数値
EMC	Word	10 進数値
EMD	Word	10 進数値
EME	Word	10 進数値
EMF	Word	10 進数値
EM10	Word	10 進数値

デバイス名	種別	アドレス番号
EM11	Word	10 進数値
EM12	Word	10 進数値
EM13	Word	10 進数値
EM14	Word	10 進数値
EM15	Word	10 進数値
EM16	Word	10 進数値
EM17	Word	10 進数値
EM18	Word	10 進数値

\*1

ビットデバイスを使用するときはデータ型を Bit2 型に設定してください。  
アドレスの下 2 桁部分でビット位置を指定します。

例)HR10.02 にアクセスする場合

デバイスに HR を設定し、アドレスは 1002 を設定する。